

実践力向上研修

セレクト型研修

一覧

※各研修の担当講師等の詳細は研修のシラバスをご覧ください

内 容		研修課題	講義時間
講義群Ⅰ（C-1） 対人支援者としての基礎・基本を学ぶ 【10講義】	1	国家資格としての公認心理師	41分 42分
	2	基本的人権の尊重と今日的課題	60分
	3	人々の権利を守る社会制度の仕組み	48分
	4	生命倫理	67分
	5	人間のこころにひそむもの	60分
	6	法制度と職業倫理のジレンマの中で	61分
	7	多職種連携・協働の理念	74分
	8	連携・協働に必要な実践力 ①情報共有するための事例の記録と報告	60分
	9	連携・協働に必要な実践力 ②連携・協働するためのコミュニケーション・相互コンサルテーション	95分
	10	心理職としての成長とトレーニング	60分
講義群Ⅱ（C-2） 人間理解の基礎を学ぶ 〔身体とこころ／発達と成長〕 【10講義】	1	いのちの誕生	54分
	2	脳とこころの発達	58分
	3	人間のライフ・サイクルと心理社会的成長	105分
	4	老いと死	59分
	5	身体とこころ	82分
	6	こころの病とこころの健康を考える	74分 46分
	7	人間の理解、人間存在の理解	68分
	8	心理的支援の現場における実践的なアセスメント	105分
	9	公認心理師としての自己理解と職能的発達	57分
	10	ストレスへの向き合い方とその対処	63分
講義群Ⅲ（C-3） さまざまな視点からこころを考える 【9講義】	1	現代社会とキャリア	64分
	2	社会集団・組織と心身の健康	61分
	3	家族	60分
	4	生活の営みとこころ	73分
	5	家族像とアイデンティティ	55分
	6	文化における普遍性と多様性	37分 35分 35分
	7	心理的支援の実践における文化	62分
	8	マイノリティの文化と心理的支援	45分 39分 21分
	9	文化間移動のこころへの影響	68分
講義群Ⅳ（C-4） アセスメントと心理的支援の基本となる学びを深める 【11講義】	1	人々の暮らしを支える礎となるもの一法と医療の視点からー	67分
	2	心理専門家の責任とクライアントの責任	58分
	3	障害と罪の有責性を考える	63分
	4	事実への接近	60分
	5	さまざまな分野における事実の取り扱い	67分
	6	心理的支援の実践と研究成果：科学的根拠	58分
	7	日々の実践を振り返る	53分
	8	スーパービジョンにおける学び方	62分
	9	ケースカンファレンスにおける学び方	65分
	10	心理検査基礎編（理論）	80分
	11	心理検査基礎編（実践）	60分
講義群Ⅴ（C-5） ケアや支援を要する人々への理解を深める 〔専門職として、病いや障害、厳しい現実を理解する〕 【10講義】	1	病気・障害とこころ	45分
	2	重い病気の子ども：障害とこころ	69分
	3	神経発達症・障害とこころ	48分 51分
	4	医療化／心理化とメンタルヘルスケアの社会化	78分
	5	こころの病とこころの薬	55分
	6	インフォームド・コンセントと協働による意志決定	60分
	7	生命と存在に関わる真実告知	40分 80分 46分
	8	認知症の理解と支援	50分
	9	高齢者・その支援者を共に支える	52分
	10	発達障害（神経発達症）の理解とその支援	64分
講義群Ⅵ（C-6） 現代社会の諸問題の理解を深め、支援を考える 【10講義】	1	危機への理解と支援	58分
	2	危機対応におけるコミュニケーション	59分
	3	災害における危機対応	38分 38分
	4	貧困の理解	92分
	5	不登校と社会的ひきこもり	40分 46分
	6	自傷について	61分
	7	自殺（自死）について	57分
	8	暴力や加害の背景にあるもの	56分
	9	虐待、DV、いじめ、ハラスメント ー弱者への暴力を考えるー	75分
	10	暴力の世代間伝達	58分

内 容		研修課題	講義時間
講義群Ⅶ（C-7） 保健医療分野の実務における基本的課題 【10講義】	1	我が国の保健医療制度の現状と課題	48分
	2	チーム医療とリーダーシップ	46分 53分
	3	一般身体科領域における公認心理師への期待	100分
	4	生活習慣と未病状態への支援	64分
	5	保健医療分野におけるトラウマインフォームドケア	64分
	6	精神科急性期病棟における多職種連携	57分
	7	リスクアセスメントとクライシスプラン	42分 44分 53分
	8	地域在宅医療における公認心理師への期待	8 5 分
	9	医療従事者の虐待対応とその後ーTICの視点から	85分 21分 43分
	10	こころとからだの境界域：慢性一次性疼痛の臨床	80分
講義群Ⅷ（C-8） 福祉分野の実務における基本的課題 【10講義】	1	生活と心理臨床	62分
	2	福祉領域における権利擁護と法制度	31分 31分 42分
	3	多職種協働による支援と心理職の役割	43分 30分 35分
	4	子育て支援と心理職の役割	33分
	5	障害のある当事者、家族、支援者への支援と心理職の役割	40分
	6	児童虐待対応の流れと心理職の役割	45分
	7	社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の役割 1：小学校年齢児	66分
	8	社会的養護を必要とするこどもの支援と心理職の役割 2：思春期・青年期	57分
	9	高齢者支援における高齢者と家族に対する心理的支援の実際	65分
	10	強度行動障害の理解と支援の実際	47分
講義群Ⅸ（C-9） 教育分野の実務における基本的課題 【10講義】	1	教育の現状と動向	38分 35分
	2	学校組織とチーム学校の理解	42分 43分
	3	子どもの問題と心理教育的援助サービスのモデル	34分 49分
	4	家庭や地域の問題と心理教育的援助サービス	36分 37分
	5	子ども、学校組織・風土、環境のアセスメント	46分 27分
	6	教職員へのコンサルテーション・コーディネーション	29分 44分 30分
	7	チーム学校へのコンサルテーション	30分 30分
	8	保護者、地域との連携	40分 50分
	9	子ども（当事者）とのパートナーシップ	40分 32分 35分
	10	教育分野における課題と公認心理師の役割	101分
講義群Ⅹ（C-10） 司法・犯罪分野の実務における基本的課題 【11講義】	1	司法における人間へのまなざし	53分
	2	司法・犯罪関連施設における生活と関係性の治療的意味	27分 42分 64分
	3	司法・犯罪分野における特有の感情の理解	69分
	4	公的支援と民間支援のシームレス連携	96分
	5	反省や内省を促す心理職の関わり	45分 24分
	6	加害者支援と犯罪被害者支援	40分 33分 37分
	7	逸脱行動の背景にある愛着の課題や発達の課題の理解	86分
	8	家庭内紛争の中にいる子どもの心理	46分 44分
	9	司法関係者等との有効な連携を図るためのアセスメントと関わり	38分 57分
	10	医療観察法と公認心理師の役割	58分 49分
	11	依存症の理解と対応	85分
講義群Ⅺ（C-11） 産業・労働分野の実務における基本的課題 【10講義】	1	キャリアサイクル理論 ー新入社員のリアリティ・ショックー	55分
	2	組織論 ー若手社員のうつ反応ー	71分
	3	組織マネジメント論 ー部長職による人材育成ー	68分
	4	リーダーシップ論 ー女性研究職の登用ー	56分
	5	多職種連携 ー関連職種との連携ー	55分
	6	外部EAP論 ー若手の退職事例ー	62分
	7	産業精神保健論	60分
	8	復職支援（リワーク） 講義 雇用に関わる法とルール 対談 ー労働法と就業規則の枠組を知るー	60分 96分
	9	多様性の時代の雇用 ー雇用における多様性を考える 人権、倫理、公正との関連からー	51分
講義群Ⅻ（C-12） 各分野で活躍する心理職の仕事を知る 【7講義】	1	保健医療分野で活躍する心理職の仕事を知る【病院・腫瘍精神科】	40分
	2	福祉分野で活躍する心理職の仕事を知る【就労継続支援B型作業所】	38分
	3	福祉分野で活躍する心理職の仕事を知る【児童養護施設】（1）	36分
	4	福祉分野で活躍する心理職の仕事を知る【児童養護施設】（2）	48分
	5	教育分野で活躍する心理職の仕事を知る【特別支援学校】	36分
	6	産業・労働分野で活躍する心理職の仕事を知る【一般企業・人事部】	42分
	7	産業・労働分野で活躍する心理職の仕事を知る【心理カウンセリング/人事コンサルティング会社運営】	40分